



↑八幡平の秋の味覚が店先にズラリと並びました



↑市と友好都市の契りを結んだ沖縄県名護市の特産品は、2日目に完売する好評ぶり



↑南部馬方節全国大会で優勝した佐々木謙蔵さん



↑開幕は柏台小学校の八幡平太鼓



↑会場には3日間で3万3千人が訪れました

山賊まつり

八幡平の秋の味覚と紅葉に33,000人が来場

八幡平の秋の味覚と紅葉を楽しんでもらおうと八幡平市山賊まつりは10月6日から8日まで、さくら公園イベント広場で行われました。開会に先立ち、田村正彦市長と沖縄県名護市の島袋吉和市長が、1月27日に名護市で調印した友好都市締結を報告し、一層の交流を誓いました。

会場には、地元の取れたて野菜や果物、キノコなど秋の味覚が満載。友好都市・名護市、姉妹都市・宮古市田老の特産品フェアも人気を集めました。

最終日の8日には、第7回南部馬方節全国大会が行われました。37人の出場者は、岩手山に向かって自慢の歌声を披露。決勝には12人が勝ち残り、審査の結果、盛岡市の佐々木謙蔵さん(81歳)が今年の日本一に輝きました。



↑友好都市締結を報告する左から島袋権男名護市議会議員、島袋名護市長、田村市長、瀬川健則議長